

進捗報告書（実行団体）

事業名:	仕事が減った人と社会課題のマッチング事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人北海道NPOファンド
実行団体名:	NPO法人大雪山自然学校
実施時期:	2020年10月～2021年9月
事業対象地域:	北海道
事業対象者:	若者、子育て家庭、観光従事者

Version 1.2

日付: 2021年4月12日

I. 事業概要

事業概要
当事業では、コロナ禍において社会的に孤立しがちな子育て家庭や非正規雇用者が、①子供が安心して過ごせる居場所を確保するとともに、②非正規雇用者をそのスタッフとしてマッチングを行う。特にインフォーマルな子供の居場所づくりに力を注ぎ、子供も保護者もスタッフも安心して活動できるよう研修を充実させる。これにより、子育て家庭にとっては多様な交流の機会が増え、非正規雇用者は子供や地域とつながりのある活動で収入を得ることが期待される。なお、非正規雇用者の仕事は、保育現場だけではなく、親子が訪問する森や遊歩道整備等、観光地における環境整備も想定しており、個人の特性に合った現場と研修機会を提供する。

II. 進捗報告の概要

総括
①「子供が安心して過ごせる居場所」は、週2回の放課後と月1回の週末活動を確保できた。インフォーマルな子供の居場所づくりとしてよい成果が上げられた。②「非正規雇用者のマッチング」は、1名を雇用。当初は2・3名を想定したが、コミュニケーションを必要とする職場に適応できる人材を見つけ出せなかった。子供の放課後活動に非正規雇用者が研修として関わる場は整ってきたので、雇用につなげることが次の課題である。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①保護者とスタッフの社会とのつながりが維持される ②子供に居場所が提供される ③非正規雇用者の活動の場がある（保育現場） ④非正規雇用者の活動の場がある（観光環境整備）	①プログラム終了後、保護者にヒアリングをしたところ、100%の保護者が「社会とのつながりは維持されている」と回答した。 ②子供自然体験活動に70人の子供が参加した。 ③森のようちえん活動に26人が研修として参加した。 ④森づくり活動に11人が研修として参加した。

活動	進捗状況	概要
①非正規雇用者の募集とマッチング ②子供の居場所の提供 ③観光環境整備活動のマッチングと研修	ほぼ計画通り	①チラシ配布やウェブサイトでの告知を各イベントに合わせて行った。 ②子ども自然体験活動を13回企画し、10回実施、3回はコロナの影響で中止した。森のようちえん活動は1回実施、平日放課後体験型保育は12回実施した。 ③森づくり活動は2回実施した。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
事業が見据える理想の状態は、新型コロナ問題が長期化しても、非正規雇用者の人材育成とマッチングを迅速に行い、インフォーマルな子供の居場所が確保されることである。 この6か月間は、自然体験活動や放課後プレイパークなどコロナ禍においても換気の良い環境で、子供の居場所を確保できた。非正規雇用者においては、研修や現場でのコミュニケーションを通して自己実現を応援し、地域との繋がりを維持することができた。保育や環境保全の現場で地域とのつながりを持ちながら、スキルアップする場を提供することができた。 具体的な数値では、子供自然体験活動の参加者200名に対して、現在70名を達成した。夏場にかけて活動の機会が増えるため、目標達成できている。また、非正規雇用者研修と10名のマッチングをする目標に対して、9名の研修を行い、うち2名を弊団体に雇用了。 今後の課題は、より広範囲への広報活動である。自ら情報を得られない人や、自ら行動に移せない人に対する情報提供と行動するきっかけを生む働きかけが必要である。今後は、NPOサポートセンター等の協力も得て、非正規雇用者や大学生との出会いの場を増やし、マッチングや研修を続けていく。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥2,290,450	¥1,733,200	¥4,023,650	¥936,688	23%
	管理的経費	¥551,850	¥424,500	¥976,350	¥382,050	39%
合計		¥2,842,300	¥2,157,700	¥5,000,000	¥1,318,738	26%
補足説明		直接事業費の達成率が23%と低い理由は、10月に降雪のため登山道整備が実施できなかったこと、コミュニケーションが必要な保育アルバイトにおいて適切な人材と出会えず、予定していたアルバイト賃が支払えなかったことである。今後は、冬と比べて倍以上の現場活動があり、そこに事業費を投じていく。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>①放課後に子供の居場所を確保する仕事と非正規雇用者のマッチングを試みたが、コミュニケーションを要する仕事のため、雇用するまでには達していない。その対応として、接客対応の少ない環境保全活動におけるマッチングを目指す。</p> <p>②広報が弱くボランティアの総数が延ばせていない。その対応は、NPOサポートセンター等のネットワークを活用し、より広く参加を呼びかける。春からは仕事内容が保育だけでなく、環境保全や外来種除去など、人とのコミュニケーションよりも自然と向き合う作業が主となる活動を入れていき、多様なタイプの人に関わりやすいコンテンツをそろえていく。</p>

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	無	
広報制作物等	有	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア募集ポスター掲示・チラシ配布 ●3月24日～4月1日、旭川市民活動交流センターcocodeにて旭岳自然保護監視員活動紹介パネル展を実施 ●2月22日 NPO法人ezorockのメンバー50名にオンライン活動報告を実施
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	第三者窓口を設置している (東川町保険福祉課)